

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地産地消、地元の野菜・さつまいもで白馬の特産物開発と普及で循環型観光地づくり
事業主体 (連絡先)	捨てないで資源活かして村づくり 北安曇郡白馬村北城8844番地イ号
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (イ農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト、ハード
総事業費	933,379 円 (うち支援金: 710,000円)

事業内容

- (1) さつまいもの栽培
村内若手農業者に各々でさつまいもの作付けを依頼するとともに、当団体においても商品開発用のさつまいもを栽培。
- (2) さつまいもを使った特産品開発
冷やし焼き芋、スムージー、干し芋を製作
- (3) さつまいも収穫体験
県外からも参加があり、土に触れ、さつまいもを収穫する喜びを体験してもらえた。
- (4) LFC コンポスト講習会
講習会を開催することで、循環型社会に関する関心を高めることができた。



【キッチンカーでスムージー販売】

【目標・ねらい】

- ① 地元さつまいもを地元消費出来る特産品開発
- ② 食育を通して農業に触れる体験
- ③ 生ゴミを家庭毎で再利用する方法の提案

事業効果

- さつまいも収穫体験
6家族参加。うち県外より3家族12名参加
- さつまいも特産品開発 (3品)
 - ・冷やし焼き芋 (はくばむすめ)
→北アルプス山麓ブランドに認定
 - ・さつまいもスムージー
→試作品を開発。キッチンカーで販売
 - ・干し芋 → 試作品作成
- コンポスト講習会 7名参加

※自己評価【C】

【理由】

- ・地元野菜で取組む事業が地元へ浸透していなかった為イベント等の集客が少なかった。
- ・今後広く商品開発、販売を進める上で、保健所の許可を取る必要があること等、課題が出てきた。

今後の取り組み

さつまいもの栽培から地元の方と関わりながら進めていけるような年間計画が必要だと感じた。春の定植から秋の収穫、追熟後の加工まで、高齢者や子供達と一緒に取組む形が出来るのが理想だと感じた。また、収穫後に特産品として加工する過程も子供達と一緒に体験する事で健康や食に対する考え方も浸透していくのではないかと感じた。スムージー等も多くの方に試飲してもらいながら、改良して行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある